《発表記者会：東北電力記者会、宮城県政記者会》

国土交通省

東北運輸局プレスリリース

平成２９年８月２８日
国土交通省東北運輸局

９月・１０月は「自動車点検整備推進運動」の強化月間です。

～「クルマを大切にするって、人生も大切にすることなんだ」～

自動車は、使用期間や走行距離に応じて故障・劣化が生じることから、安全にご使用いただくためには、自動車ユーザーが責任を持って、適切に日常点検と定期点検を実施し、必要な整備をしなければなりません。このため、東北運輸局では、関係団体等と協力し、９月及び１０月を「自動車点検整備推進運動」強化月間として、自動車ユーザーへ適切な点検・整備の重要性を啓発するとともに、確実な点検・整備の励行を積極的に推進します。

１．点検・整備の必要性の啓発活動

自動車の点検・整備を推進するため、マイカー点検教室、自動車点検フェスティバル等、子供連れの皆様も楽しめるイベントを各県で開催※1するとともに、自動車ユーザーへチラシを配布する等、啓発のための活動を実施します。

（※１別紙：東北運輸局管内におけるイベント実施計画）

２．大型車に対する確実な点検・整備の励行

大型車については、タイヤ・ホイールの取付状態、燃料装置等の重点箇所に係る点検を促します。

大型車の車輪脱落事故、車体フレームの腐食による事故やバスの車両火災を防止するため、整備管理者に対する講習会等を活用し、確実な点検・整備の励行を呼びかけます。

３．エコ整備の啓発

適切な点検・整備の実施によるCO_2の削減効果※2について、イベントにおけるチラシの配布等、様々な機会を捉えて自動車ユーザーに対して周知します。

（※２エンジンオイル・オイルフィルタの交換、エアクリーナ・エレメントの交換、タイヤ空気圧調整などを実施することから派生する燃費改善効果により、CO_2削減の効果が期待されます。）

４．整備不良等に起因する事故防止の啓発

エンジンオイルの劣化による車両火災事故やブレーキ装置の整備不良による事故の危険性等を、街頭検査において自動車ユーザーに点検整備の注意点を記した小冊子を配布する等により周知を図り、事故防止に向けた確実な点検・整備の励行を呼びかけます。

東北運輸局マスコット
”とうほくろっ犬”

【お問い合わせ先】
東北運輸局自動車技術安全部整備・保安課　阿部、渡邊
TEL　０２２－７９１－７５３４　FAX　０２２－２９９－８８７２
運動に関するホームページアドレス（ http://www.tenken-seibi.com/ ）

別紙

東北運輸局管内におけるイベント実施計画

県別	月　日 時　間	実 施 場 所	イベント名	イベントの主な予定
青森	9月3日（日） 10:00～14:00	青森運輸支局構内 所在地： 青森市浜田豊田139-13	「自動車ふれあい フェスティバル2017」	・マイカー点検教室 ・マイカー無料点検サービス ・クルマ相談コーナー ・交通安全教室 ・自動車検査場の公開 ・踏切からの脱出実演コーナー等
	10月15日（日） 10:00～14:00	テクノルアイスパーク八戸　駐車場 所在地： 八戸市新井田西4丁目１－１	「八戸自動車 フェスティバル2017」	・マイカー点検教室 ・マイカー無料点検 ・クルマ相談コーナー ・交通安全教室等
岩手	9月16日（土） ～ 9月17日（日） 9:30～16:00	岩手産業文化センター　アピオ 所在地： 滝沢市砂込389-20	「IBCまつり2017」 ※岩手放送主催への出展	・マイカー点検教室 ・マイカー相談 ・衝突試験車両の展示 ・子供免許証、キーホルダー作成等
宮城	9月18日（月） 10:30～14:30	勾当台公園　市民広場 所在地： 仙台市青葉区国分町3丁目7	「第27回宮城バスまつり」 ※宮城県バス協会主催への出展	・チラシ配布 ・自動車部品展示 ・マイカー相談等
秋田	9月2日（土） 10:00～15:00	道の駅象潟「ねむの丘」構内 所在地： にかほ市象潟町字大塩越７３－１	「"マイカーてんけん日"フェア」	・マイカー点検教室 ・無料日常点検 ・マイカー相談所 ・自動車構造・装置のカット模型展示 ・自動車整備クイズ ・自動車新旧部品展示 ・自動車リサイクル部品の展示 ・運転適性診断体験 ・こども免許証発行等
山形	10月28日（土） ～ 10月29日（日） 10:00～16:00	山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング 所在地： 山形市平久保100番地	「マイカー点検 フェスティバル2017」 ※「やまがた環境展2017」 と同時開催	・マイカー相談 ・マイカー無料点検 ・劣化部品展示 ・スタンプラリー ・ペーパークラフト作成 ・こども免許証発行等
福島	10月14日（土） ～ 10月15日（日） 10:00～17:00	郡山総合体育館 所在地： 郡山市豊田町3番10号	『くるまの点検フェア』 ※福島放送局主催『KFBまつり』 への出展	・マイカー相談 ・チラシ配布 ・自動車劣化部品等の展示 ・子供向けつなぎ着用体験 ・ミニ点検教室 ・こどもプレゼントコーナー（子供免許等） ・運転適性診断

《平成28年度　各地のイベント風景》

青森

岩手

宮城

秋田

山形

福島

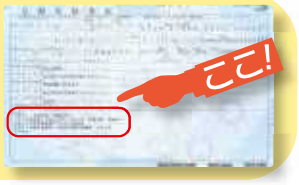
LOVE CAR. LOVE LIFE
クルマを大切にするって、人生も大切にすることなんだ

クルマを大切にするって、
人生も大切にすることなんだ

安全確保と環境保全には、クルマの点検・整備が必要です

平成26年2月から車検証の備考欄に点検・整備実施状況の記載を開始しました。詳しくは、QRコードをご参照。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000089.html



●自動車の点検・整備のことが詳しくわかります。 点検・整備 検索 www.tenken-seibi.com

■推進：国土交通省　自動車点検整備推進協議会　■後援：内閣府　警察庁　環境省
■協力：独立行政法人自動車技術総合機構　軽自動車検査協会　独立行政法人自動車事故対策機構

2017 自動車点検整備推進運動

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
日本自動車輸入組合
一般社団法人 全国レンタカー協会
一般社団法人 日本損害保険協会
全国自動車電装品整備商工組合連合会
一般社団法人 日本自動車車体工業会
一般社団法人 日本自動車工業会
一般社団法人 日本自動車連盟
一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
全国共済農業協同組合連合会
一般社団法人 自動車用品小売業協会
全国タイヤ商工協同組合連合会
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
一般社団法人 全国自家用自動車協会
全国石油商業組合連合会
全国労働者共済生活協同組合連合会
一般社団法人 電池工業会
全国自動車部品販売店連合会
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
公益社団法人 日本バス協会
一般財団法人 自動車検査登録情報協会
一般社団法人 日本自動車部品工業会
全国ディーゼルポンプ振興会連合会
一般社団法人 日本自動車部品協会
一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
公益財団法人 日本自動車教育振興財団
全日本自動車部品卸商協同組合
日本自動車車体整備協同組合連合会
全国オートバイ協同組合連合会(順不同)

安全確保と環境保全はクルマの点検・整備から。

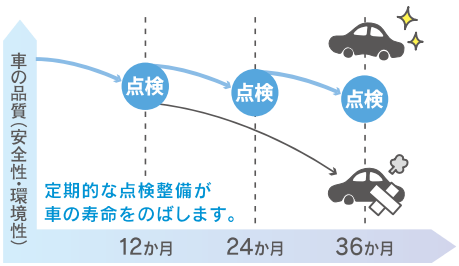
日常点検や定期点検はクルマのトラブルを防ぐだけではなく、地球温暖化の原因であるCO_2の削減にもつながります。
特に、長くご使用のクルマには、細やかな点検が欠かせません。日頃からクルマの健康管理を心がけましょう。

日常点検 日頃、自動車を使用している中で、走行距離や運行状態などから判断し、適切な時期に点検を行うことが必要です。チェックしてみましょう。

定期点検 定期点検は、安全確保・環境保護の観点から、自家用乗用車については、1年ごとに実施しなければなりません。

車検（自動車の検査）は、安全・環境面で国が定める基準に適合しているかどうかを一定の期間ごとに確認するものであり、次の検査までの安全性等を保証するものではありません。したがって、使用者は日常点検整備や定期点検整備を確実に実施するとともに、使用に応じた適切な保守管理を行う必要があります。

月日が経つと？（自家用乗用車）

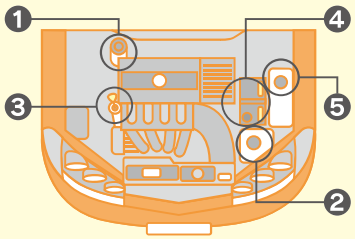


マイカーを点検しよう!日常点検 15 項目チェックシート

判定 ○ or ×

エンジンルーム 5項目

日常点検 #01



❶ブレーキ液の量
ブレーキ液のリザーバ・タンクを見て、液量が上限ラインと下限ラインとの間にあるかどうかを点検します。液量が下限ラインより低い場合は、安易に補充せず、早急に整備のプロに相談しましょう。

❷冷却水の量
冷却水のリザーバ・タンクを見て、液量が上限ラインと下限ラインとの間にあるかどうかを点検します。
この冷却水が下限ラインに近いか、それより少ない場合は、上限ラインまで冷却水を補充しましょう。

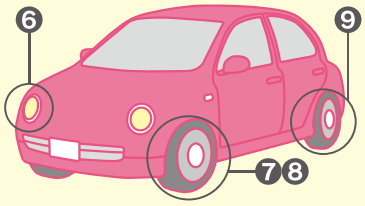
❸エンジン・オイルの量
エンジンに付いているオイル・レベルゲージを抜きとり、付着しているオイルを拭きとってから、ゲージをいっぱいに差し込み、再度抜きとってオイルの量を見ます。ゲージの先端についている2本のラインか、ギザギザ部分の目印の中間にオイルがあれば合格です。ゲージの下限ラインよりもオイルが下側にあるときは補充しましょう。また、汚れている場合は交換しましょう。

❹バッテリ液の量
バッテリ液の量が規定の範囲（上限と下限の間）にあるかを車両を揺らすなどして点検します。
バッテリ液は腐食性が強いので、体、衣服、車体などに付着しないよう注意しましょう。

❺ウインド・ウォッシャ液の量
ウインド・ウォッシャ液の量が適当かを点検します。液量が少ない場合は上限まで補給しましょう。

クルマの周り 4項目

日常点検 #02



❻ランプ類の点灯・点滅
クルマには ヘッドライト、スモールランプ、ブレーキランプ、テールランプ、ウィンカーなど、多くのランプが付いています。
点灯・点滅の有無を確認し、レンズの汚れや損傷も調べましょう。点灯・点滅していない場合は、すみやかに交換しましょう。

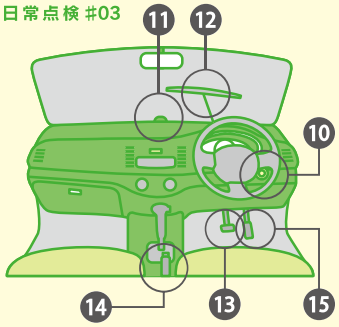
❼タイヤの亀裂・損傷の有無
タイヤの亀裂や損傷の有無を目や手で確認するとともに、タイヤに異物が付着していないかを入念に点検します。タイヤにかみ込んだ異物はきれいに取り除きましょう。また、タイヤが片減りしている場合は要注意。整備のプロに相談しましょう。

❽タイヤの空気圧
タイヤの接地部のたわみ具合を目で見て判断しましょう。接地部のたわみ具合で判断ができなければタイヤゲージを使って点検しましょう。タイヤの空気圧が不足している場合は、指定空気圧まで補充しましょう。

❾タイヤの溝の深さ
タイヤの溝の深さが浅くないかをタイヤの接地面のスリップ・サインを目印に、チェックします。スリップ・サインは溝の深さが1.6mm以下になると、現れます。溝の深さが足りないと、スリップしやすくなり、雨天走行時はとても危険です。サインが現れたら、早急にタイヤを交換しましょう。※スリップ・サインは、タイヤ側面の三角マークのある位置の接地面に出ます。

運転席 6項目

日常点検 #03



❿エンジンのかかり具合・異音
エンジンが速やかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。また、エンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。

⓫ウインド・ウォッシャ液の噴射状態
ウインド・ウォッシャ液を噴射させ、ワイパーの作動範囲に噴射されるかチェックします。また、その向きや高さが適当か点検します。

⓬ワイパーの拭き取り能力
ワイパーを作動させ、低速および高速の各作動が不良でないかを点検します。また、ウインド・ウォッシャ液がきれいに拭き取れるかを点検します。ワイパーのから拭きは、ガラスを傷つけますので、ウインド・ウォッシャ液を噴射してからワイパーを作動させましょう。

⓭ブレーキの踏み残りしろと効き具合
エンジンをかけて異音がないかどうか確かめたうえ、ブレーキ・ペダルを強く踏み込んだとき、床板との間（踏み残りしろ）が適当かどうか確認します。踏みごたえが「いつもと違うな」と感じたら要注意です。

⓮駐車ブレーキの引きしろ（踏みしろ）
駐車ブレーキをいっぱいに引いた（踏んだ）ときに、引きしろ（踏みしろ）が多すぎたり、少なすぎたりしないかを点検します。
ブレーキ・ペダルと同様に、新車時や定期点検直後との違いを比較してください。

⓯エンジンの低速・加速状態
エンジンを暖機させた状態で、アイドリング時の回転がスムーズに続くかを点検します。次に、エンジンを徐々に加速したとき、アクセル・ペダルに引っ掛かりがないか、スムーズに回転が上がるか、走行するなどして点検します。

※自家用乗用車の定期点検は、1年ごとに点検を行う項目が細かく決められており、整備のプロにまかせたほうが安心です。

トラック・バスなどの大型車をご使用の皆さんへ

火災・車輪脱落・車体腐食防止のために しっかり点検・整備しましょう。

日常点検や**定期点検**をきちんと行っていますか?
日頃こまやかな点検を行っていれば、**火災・車輪脱落・車体腐食**などのほか
運転中のトラブルの多くは回避できます。
毎日安心して運転するために、**しっかり点検しましょう。**

車両火災

このような事故が起きています。

事業用バスの車両火災事故

平成 27 年 12 月の東京都豊島区池袋でのバス火災事故をはじめ、年末年始から同種事故が多発しました。
事業用バスの車両火災は、平成 15 年 1 月から平成 27 年 12 月末までに事業用で 222 件発生しており、なかには、車両が全焼に至るケースも見られ、一歩間違えれば大惨事となりかねません。

最近４年間(平成23年～26年)に発生した事業用バス火災事故(58件)の発生推定原因

バス火災事故の原因としては「点検・整備不十分」や「整備作業ミス」といった点検・整備が関係しているものの割合が多く(36件)、また、出火に至る状況としては「電気配線ショート」や「燃料漏れ」の割合が多かった(22件)

火災事故を防ぐためにも以下を含む点検・整備は必ずおこなってください。

部位(装置)	点検のポイント(見方 / 交換目安)	点検しないと…(火災発生のメカニズム)
バッテリーのターミナル	• 緩みや腐食、外れはないか。	• 異常発熱や配線のショートにより発火し、火災を起こします。
バッテリーハーネス	• 固定の緩みや外れ、干渉はないか。 • 被覆のやぶれ、変色・腐食、著しい劣化、ショートの痕などはないか。	
燃料フィルター	• 取付部やドレーンプラグなどから燃料漏れやにじみはないか。 ※定期的に交換しているか。	• 部品の劣化や摩耗などから、燃料が漏れ、排気管などの高温部に触れて火災を起こします。
燃料ホース	• 接続部からの燃料漏れやにじみはないか。 • 亀裂やヒビ割れはないか。 ※定期的に交換しているか。	
燃料パイプ (燃料高圧パイプ)	• 接続部からの燃料漏れやにじみはないか。 • クランプ部の緩みや外れ、クリップ・ゴムの劣化や外れはないか。 • パイプに擦れや摩耗の跡はないか。	

車輪脱落

このような事故が起きています。

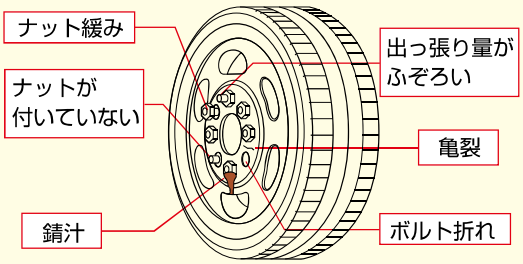
大型自動車の車輪脱落事故

ボルトの折損を伴うタイヤの脱落事故は、平成15年1月以降、平成27年12月末までに460件発生しており、平成20年4月には、東名高速自動車道でボルト折損により脱落したタイヤが対向してきたバスに衝突し、バスの運転者が死亡した事故が発生しています。車輪脱落事故は、ナットが緩む、ボルトが折れる等、車輪脱落までには必ず予兆があります。日常点検や定期点検をしっかり行ってください。また、タイヤ交換時などの不適切な締付け（強すぎ、弱すぎ）や、誤ったボルト・ナットの使用（アルミホイール用、スチールホイール用の誤用）は、車輪脱落の原因となります。

日常点検

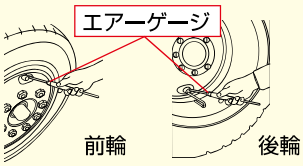
１日１回、運行前に日常点検を実施することになっています。乗用車と比べて走行距離も多いことから、クルマの健康状態をしっかりチェックし、事故を未然に防止するためにも日常点検を行いましょう。

①目視での点検



②点検ハンマや小型ハンマを使用しての点検

③タイヤ空気圧の点検

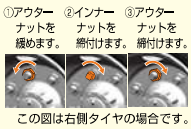


増し締めの実施

締付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下します。
50～100km 走行後を目安に増し締めを行います。

ねじの締付け方向を確かめて締付けます

JIS 方式（球面座）ダブルタイヤの場合



この図は右側タイヤの場合です。

車体腐食

このような事故が起きています。

事業用バスの車体腐食事故

○平成２７年１１月１２日、貸切バスが走行中に操縦不能となり、進行方向右側の中央分離帯に衝突。７名負傷。

この事故は、凍結防止剤によるフレームの腐食のためロワーアームがフレームから脱落し、ハンドル操作が不能となったことが原因と考えられる。打音点検（下記参照）等、適切な点検整備の実施による確認が必要。

主要骨格部位の腐食による穴あき等は、堅ろうではないとして保安基準不適合

自動車点検基準（国土交通省令）に「車枠及び車体」の「緩み及び損傷」を3月ごとに点検することとなっています。自動車の下回りの主要骨格部分を含む自動車部品を点検ハンマによる打音点検等によるほか、自動車メーカーが提供している情報（QRコード参照）を参考に、腐食の有無等について点検を行うようにしてください。
また、点検の結果腐食が疑われる場合には、整備の必要性について整備工場等に相談し必要な防錆措置又は補修を行うなどの対処を行うようにしてください。

■推進：国土交通省　自動車点検整備推進協議会　■後援：内閣府　警察庁　環境省
■協力：独立行政法人自動車技術総合機構　軽自動車検査協会　独立行政法人自動車事故対策機構
一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会　一般社団法人 日本自動車工業会　一般社団法人 日本自動車販売協会連合会　一般社団法人 全国軽自動車協会連合会　一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会　日本自動車輸入組合　一般社団法人 日本自動車連盟　一般社団法人 全国自家用自動車協会　公益社団法人 日本バス協会　一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会　一般社団法人 全国レンタカー協会　一般社団法人 日本自動車タイヤ協会　全国石油商業組合連合会　一般財団法人 自動車検査登録情報協会　公益財団法人 日本自動車教育振興財団　一般社団法人 日本損害保険協会　全国共済農業協同組合連合会　全国労働者共済生活協同組合連合会　一般社団法人 日本自動車部品工業会　全日本自動車部品卸商協同組合　全国自動車電装品整備商工組合連合会　一般社団法人 自動車用品小売業協会　一般社団法人 電池工業会　全国ディーゼルポンプ振興会連合会　日本自動車車体整備協同組合連合会　一般社団法人 日本自動車車体工業会　全国タイヤ商工協同組合連合会　全国自動車部品販売店連合会　一般社団法人 日本自動車部品協会　全国オートバイ協同組合連合会（順不同）

●自動車の点検・整備のことが詳しくわかります。　点検・整備　検索　www.tenken-seibi.com

2017 自動車点検整備推進運動